

科目名	国語表現	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			教科書・副教材等	高等学校 国語表現 (第一学習社)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			・授業態度、発言、提出物の状況	
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。			・授業態度、発言、音読、ノート等のメモ書き	
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、発言、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	表現の実践 詩のカレンダーを作る 課題作文を書く 小論文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「誕生月の詩を選ぶ」で選んだ詩を持ち寄り、各月の代表詩を決定した各月の代表詩をもとに、カレンダーを作る。</li> <li>・例文を内容・表現・表記の面から分析・評価する。</li> <li>・自分自身について分析し、自己認識を深める。課題作文の書き方を理解し、明確な自己アピールとなる文章を書く。</li> <li>・小論文の書き方を理解する。</li> <li>・小論文を書き、書いた小論文を相互に批評する。</li> </ul>			中間 ・ 期末
2 学 期	表現の探求 日本語の特徴 方言と共通語 敬語の分類  ニュアンスを変える 助詞  日本語のレトリック 古語雑談「やさし」 の語史  時間の見方を変える とき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の、文法・語彙・音節・文字の特徴を理解する。</li> <li>・方言と共通語の特徴を理解するとともに、方言のよさを理解し、方言と共通語を適切に使い分ける態度を養う。</li> <li>・目的や場に応じて、適切な言葉遣いで話すことの重要性を理解する。また、正しい敬語について理解し、適切な敬語を用いて話す。</li> <li>・身近な日常会話を通して、日本語に対する興味・関心を持ち、助詞の違いで意味が変化することについて、日本語の文法の特徴を理解するとともに、助詞の違いにこめられたニュアンスの違いを理解する。</li> <li>・日本語における比喩表現について、その種類や用例、効果を理解し、比喩表現が人間の言語生活に与えた影響とその意義を理解する。</li> <li>・言葉の意味の変遷をたどることにより、現在使われている日本語の成り立ちや、日本人のものの考え方の源泉について考える。</li> <li>・現代語と古語との間に意味の違いがある言葉について、どのように意味が異なるか調べて理解する。</li> <li>・論理的な文章を読み、その構成や論証のしかたを、自分の表現に役立てる。</li> <li>・論理的な文章を読み、ものの見方や考え方を広げる。</li> <li>・論理的な文章を読み、その優れている点を話し合う。</li> </ul>			中 間 ・ 期 末
3 学 期	臯月  コップの中の論戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章中の表現技法とその効果を理解する。</li> <li>・登場人物個々の描写のしかたや、心情を表す工夫について理解し、自分の表現に役立てる。</li> <li>・投書を擬した各文章の論点と、その表現の特徴とを理解し、そのように表現した筆者の意図を考える。</li> <li>・論戦に加わる形で自分の意見を書き、相互批評をする。</li> </ul>			学 年 末

科目名	国語探究Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組（選択）
学習の到達目標	評論や報告文を読むにあたって必要な現代社会の用語やその意味・使い方などを学習させた上で、実際に自分の意見を論理的に構築して、小論文として書いていく力を身に付けさせる。			教科書・副教材等	サクセス 小論文講座 (桐原書店)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			・授業態度、発言、提出物の状況	
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。			・授業態度、発言、音読、ノート等のメモ書き	
書く能力	自分の考えに必要な情報を用い、適切な表現による文章にし、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、発言、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1 知識と情報 環境と生態系の保全 食の確保と安全 森林と地球温暖化 持続可能な社会 日本の農業		・原稿用紙の使い方、禁則処理等の既習事項の定着を図る。 ・原稿用紙に意見を書く。 ・現代社会の、主に農業や科学の分野で問題となっているものについて、その現状を学習する。		学 期 末
2 学 期	2 小論文の実践 要約の仕方 キーワードの見つけ方  課題の主旨をつかむ  意見を決める 理由付けをする 反証の仕方		・課題文を要約する練習をする。  ・小論文の基本的な書き方をもとに、実際の自分の意見を小論文に書く。 ・例題に沿って、さまざまなパターンの小論文を練習する。		学 期 末
3 学 期	3 さまざまな課題 問題提起の仕方  課題のタイプと書き方  効果的な具体例の出し方		・課題文の読解と、そこから問いを立てる方法を身に付ける。  ・より説得力のある小論文になるよう、具体例を工夫する。		学 年 末

科目名	地理 A	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 地理的事象の地域性・背景・要因を理解し、課題や将来像を考えることができる。 2 地理の学習を通して、民主的で平和的な国家・社会を形成する日本人としての自覚を持ち、国際社会に主体的に対応して生きることのできる力を身に付ける。	教科書・副教材等	基本地理 A (二宮書店) 新詳高等地図 (帝国書院)		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。			・授業中の態度 ・発表の積極性と内容 ・プリントやノートのまとめ方	
思考・判断	現代世界の地理的事象から課題を見出し、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正、公平に判断することができる。			・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・課題解決に向けた論述とその構成及び内容	
資料活用の技能・表現	地図や統計など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けている。考察した過程や結果を適切に表現することができる。			・定期考査 ・地図・統計・グラフの選択と読み取り、活用 ・資料を用いた発表	
知識・理解	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。			・定期考査 ・授業中の発表と内容 ・各種プリントやノートの内容	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	第1章 球面上の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の各地域では時刻及び季節が異なることを理解し、世界各地の時刻の求め方を習得する。</li> <li>地図の技法と用途に応じて使い分ける意味を理解する。</li> <li>情報・通信網の発達が世界各地の結びつきを強めたことや、交通機関の発達により人・モノの移動時間が短縮され、地球を狭くさせたことを理解する。</li> <li>統計資料をもとに作成された主題図を読み取り、世界の貿易の現状を理解する。</li> <li>経済発展に伴う生活の変化と、余暇活動・消費活動の推移について理解する。</li> </ul>			中間・期末
	第2章 自然・生活・文化と私たちの暮らし				
2 学 期	第3章 世界各地の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の大地形が人間生活と密接に関係していることを知り、プレートテクトニクス理論を関連させながらその成因を理解する。</li> <li>世界の諸地域の気候を理解し、人間生活との関わりについて考察する。</li> <li>民族の定義を理解し、世界の言語・宗教分布を理解する。</li> <li>アメリカ合衆国の国土・自然環境を知り、生活する人々の多様性について理解する。</li> <li>乾燥地域の人々の生活・文化を水との関わりから理解するとともに、石油資源・宗教が生活・文化に与える影響を考察する。</li> <li>ヨーロッパ統合の背景と過程を理解する。</li> <li>オーストラリアの生活・文化の特徴と日本との関わりを理解する。</li> </ul>			中間・期末
	第4章 地球的課題				
3 学 期	第5章 生活圏の諸問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球的課題の出現を、地域性を踏まえ理解する。</li> <li>人口問題、居住・都市問題、食糧問題、資源・エネルギー問題、環境問題について理解し、解決方法を考察する。</li> <li>多様な問題の相互関連性を理解し、我が国の役割を考察する。</li> </ul>			学年末

科目名	政治・経済	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 現代の政治や経済、国際社会の仕組みや動向について理解を深め、良識ある公民としての基礎的教養を高める。 2 広い視野に立ち、現代における政治や経済、国際社会に関する諸課題について主体的に考察し、公正に判断する能力を身に付ける。	教科書・副教材等	高等学校 改訂版 政治・経済 (第一学習社)		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄に対して関心が高まっている。</li> <li>主体的、意欲的に課題を追究している。</li> <li>社会的事象を総合的に考える態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての生き方を考え、社会の一員としての自覚を深めようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度</li> <li>発表の積極性と内容</li> <li>レポートやプリント、ノートのまとめ方</li> </ul>	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄から課題を見出している。</li> <li>社会事象の本質や人間として生き方について広い視野にたって多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査（論述問題）</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>課題解決に向けた論述とその構成及び内容</li> </ul>	
資料活用・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の諸事象についての資料を多様なメディアを通して収集することができる。</li> <li>情報を主体的に選択し、活用することができる。</li> <li>課題を追究し、考察した過程や結果を適切に表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査（論述問題）</li> <li>統計・グラフの選択と読み取り、活用</li> <li>資料を用いた発表</li> <li>レポート及び課題プリント</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治・経済の各分野に関する基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>現代社会で生起する問題が複合的要因で生じていることを理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査及び小テスト</li> <li>授業中の発表と内容</li> <li>各種プリントやノートの内容</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法  第2章 現代の国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権保障や法の支配など、民主政治の原理やその発展について理解し、民主政治のあり方について考察する。</li> <li>日本国憲法の成立過程や、基本原則について理解するとともに現代の社会における課題について考察する。</li> <li>国会、内閣、裁判所などの政治機構について理解を深め、日本の政治機構の課題について考察する。</li> <li>「民主主義の学校」といわれる地方自治の意義と問題を理解し、今後の地方自治のあり方について考察する。</li> <li>日本の選挙制度について理解を深め、自発的に政治に参加する意識を養う。</li> <li>国際政治のしくみを理解し、国際社会における日本の役割を考察し、国際社会の一員としての態度を養う。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質  第2章 国民経済と国際経済 第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本主義経済と社会主義経済の特徴やその変容を理解する。</li> <li>市場経済の機能を理解し、景気の変動、財政の役割について理解を深め、現代社会の経済の動きを考察する。</li> <li>日本経済の特質を理解し、日本経済の問題を考察する。</li> <li>国際経済のしくみや国際分業、国際経済機関の役割について理解を深め、国際経済における日本の役割を考察する。</li> <li>大きな政府と小さな政府、少子高齢化と社会保障、住民生活と地方自治、食料問題、環境問題、消費者保護、労働問題等の現代の諸課題を追究し、多様な角度から考察する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境問題、核兵器と軍縮、人種・民族問題、経済摩擦と外交、南北問題、国際社会における日本の役割等の国際社会の政治や経済の諸課題について追究し、国際社会における日本の役割について深く考察する。</li> </ul>			学年末

科目名	数学Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択) 普通科 3年2組(選択)	
学習の到達目標	指数・対数関数、微分・積分について、その概念や原理・法則の理解を深め、数学的活動を通して創造性の基礎を培い、事象を数学的に考察し、処理する能力や積極的に活用する態度を養う。			教科書・副教材等	新編 数学Ⅱ (数研出版) パラレルノート 数学Ⅱ (数研出版) 数学就職問題集 (浜島書店)	
評 価 規 準						
観 点	内 容			方 法		
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題への取り組み</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>説明を聞く態度</li> <li>身だしなみ</li> </ul>		
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>発問に対する応答</li> <li>定期考査</li> </ul>		
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現・処理する方法や推論の仕方を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>		
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語及び記号などを理解し、基礎的な知識を身に付ける。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	[数学就職問題集] 数と式の復習 方程式・不等式の復習 関数の復習 場合の数と確率の復習 図形の復習			<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校や高等学校で学習した基本的事項を確認するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>		中間・期末
2 学 期	[数学Ⅱ] 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化			<ul style="list-style-type: none"> <li>累乗の意味を理解し、指数を自然数・整数・有理数・実数全体へと拡張できるようにする。</li> <li>指数関数及び対数関数の定義を理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>関数の平均変化率を考え、微分係数や導関数の定義を理解する。</li> <li>グラフ上の点の傾きから導関数の符号により関数の増減を調べることができるようにする。</li> <li>増減表を書いて、極大値・極小値、最大値・最小値を求めることができるようにする。</li> </ul>		中間・期末
3 学 期	第3節 積分法			<ul style="list-style-type: none"> <li>微分の逆演算として不定積分の考え方を理解する。</li> <li>積分の考え方をを用いて面積を求めることができるようにする。</li> </ul>		学年末

科目名	数学活用	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組 (選択)
学習の到達目標	数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割や有用性について理解させ、数学に対する興味・関心を高めるとともに、事象を数理的に考察する能力を養い、数学を活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	数学活用 (実教出版) 数学就職問題集 (増進堂)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できる。			・課題への取り組み ・ノートのとめ方 ・説明を聞く態度 ・身だしなみ	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			・課題の解答 ・ノートのとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い	
1 学 期	[数学就職問題集] 数と式の復習 方程式・不等式の復習 関数の復習 場合の数と確率の復習 図形の復習			・中学校や高等学校で学習した基本的事項を確認するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。	
2 学 期	[数学活用] 1章 身の回りの数学 1節 いろいろな場合の数 2節 身の回りの図形 3節 数学的な表現のくふう 2章 社会生活と数学 1節 経済と数学 2節 測定と数学 3節 コンピュータと人間の活動 3章 数学の発展と人間の活動 1節 数と人間 2節 図形と人間			・身の回りのいろいろなところで数学が関係していることを理解する。 ・図、表、行列などを用いて、事象を数学的に表現ができるようにする。 ・社会生活において数学が活用されている場面や身近な事象を数理的に考察するとともに、それらの活動を通して数学の社会的有用性についての認識を深める。 ・人間の文化史とのかかわりの中から生まれてきた数学の基礎的な概念として、数と図形的话题を取り上げ、数学に対する興味・関心が高まるようにする。	
3 学 期	3節 数学と文化			・数学と人間がどのように関わって発展してきたかを理解する。	
				中間・期末	中間・期末
					学年末

科目名	化学基礎	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組 (選択)
学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。			教科書・副教材等	改訂 新編 化学基礎 (東京書籍) ニューサポート 改訂 新編 化学基礎 (東京書籍)
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験に臨む意欲や態度</li> <li>・報告書の提出状況</li> <li>・授業ノート</li> </ul>	
思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ワークシート</li> <li>・実験ノート (考察)</li> </ul>	
観察・実験における技能	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の習熟度</li> <li>・実験データの処理</li> <li>・発表の方法</li> </ul>	
知識・理解	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題集</li> <li>・実験ノート</li> <li>・発表の内容</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	序章 化学と人間生活  1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素 2章 原子の構造と元素の周期表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学と人間生活のかかわりについて関心を高め、化学が人間生活に果たしている役割を理解するとともに、観察、実験などを通して物質を探究する方法の基礎を身に付ける。</li> <li>・原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。</li> <li>・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	3章 化学結合  2編 物質の変化 1章 物質質量と化学反応式 2章 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。</li> <li>・金属結合及び金属の性質を理解する。</li> <li>・共有結合を電子配置と関連付けて理解する。</li> <li>・分子からなる物質の性質を理解する。</li> <li>・物質質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。</li> <li>・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。</li> <li>・酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	3章 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。</li> <li>・代表的な化学反応の1つである酸化還元反応の仕組みや利用例について学ぶ。</li> </ul>			学年末

科目名	体育	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科3年1組、普通科3年2組	
学習の到達目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を習得したり、高めたりして、運動の楽しさや喜びを体験する。 2 体の調子を整えたり、仲間との交流を自主的・計画的・積極的に育成したりする資質を身に付ける。 3 公正・協力・責任などの社会的な態度を育て、健康・安全に留意し生涯を通じて継続的に運動できる能力や態度を育成する。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 改訂版 現代高等保健体育ノート (大修館書店)	
評 価						
観 点	評 価 規 準				方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康安全に留意し互いを尊重して練習や試合を自主的に行うとともに、公正な態度が取れるようにしている。</li> <li>互いに協力し、自己に適した楽しみ方ができるよう積極的に取り組もうとしている。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>参加意欲の観察</li> <li>活動状況の観察</li> </ul>	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>特性に応じた動きを選択し工夫して練習を行い、互いの動きを評価しようとしている。</li> <li>全員が楽しめるようにルールを工夫し、アイデアを出し合って学習を進めている。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>学習状況の観察</li> </ul>	
技 能	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームで役立つチーム練習や戦術を、他者と協力して高めようと工夫している。</li> <li>集団的、個人的技能を活用し、学習段階に応じた作戦を立てゲームに取り組もうとしている。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>活動状況の観察</li> <li>スキルテストや記録会の結果の分析</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いに練習計画を立てたり、試合の運営をしたりしている。</li> <li>個々の能力に応じた課題やチーム課題の解決を目指して、計画的な練習や試合をしている。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの中の審判等の実施状況の観察</li> <li>理解状況の観察</li> </ul>	
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考 査
1 学期	1 体育の学習について 2 体育理論 3 体づくり運動 4 球技(選択) サッカー ソフトボール バスケットボール バレーボール バドミントン 卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会におけるスポーツの意義や必要性、スポーツライフの設計と実践についての理解を深める。</li> <li>集団行動の意義や行い方を理解する。</li> <li>自己の体力や生活に応じた体づくりを行うことができるように体づくり運動を計画的に実践していく方法を学習する。(球技)</li> <li>技能に応じた攻め方・守り方とルールを工夫して練習やゲームができるようにする。</li> <li>攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程で楽しさや喜びを味わうことができるようにする。</li> <li>互いが協力して作戦を立てて、集団技能や個人的技能を活用して試合ができるようにする。(体操・ダンス)</li> <li>体を動かす楽しさや心地よさを味わい、精神的なストレスを解消し体と心の安定を図る。</li> <li>他者と協力してリズムの取り方や動き方などを工夫して創作し、踊りを楽しみ、交流することができるようにする。(陸上競技)</li> <li>自己に適したペースで走ることができ、自己の記録に挑戦できるようにする。</li> <li>動きを持続する能力を高める運動ができるようにする。(体育理論)</li> <li>各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツへのかかわり方の特徴や条件があることや、それらの特徴や条件に応じて無理なく計画を立てること、生涯スポーツの実践を支える環境を確保するためのスポーツ振興に向けた施策や条件、スポーツが環境に及ぼす影響に配慮する必要があることについて理解する。</li> </ul>				実施なし
2 学期	1 体操・ダンス 2 球技(選択) サッカー バスケットボール バレーボール テニス バドミントン 卓球 3 陸上競技(中長距離走)					実施なし
3 学期	球技(選択) サッカー バスケットボール バレーボール テニス バドミントン 卓球					実施なし



科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。			教科書・副教材等	Revised ENGLISH NOW English Communication II (開隆堂)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・発言・発表の内容 ・課題提出、ノートの作成状況	
外国語表現の能力	・幅広い話題について、情報や考えなど伝えたいことを整理して英語で話したり、書いたりして表現することができる。			・小テスト、定期考査 ・課題の内容	
外国語理解の能力	・幅広い話題について、英語を話したり読んだりして伝えようとする情報や考えを整理して理解できる。			・定期考査、課題テスト ・教科書の内容やその関連事項についてのQ & A	
言語や文化についての知識・理解	・幅広い話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題テスト ・課題の達成状況	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	Lesson 6 Rakugo Goes to the U.S.  Let's Communicate②  Lesson 7 The Kizuna Bridge	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落語を通して外国人が日本文化をおもしろいと思う点を読み取る。</li> <li>・make+目的語+動詞の原形について理解する。</li> <li>・乗り換え案内の表現を理解し、対話を行う。</li> <li>・日本の国際貢献について理解する。</li> <li>・関係代名詞を含む文を理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	場面で理解③  Lesson 8 Ken's Everlasting Challenge  Lesson 9 The Zero Emissions Project  Let's Communication 3 場面で理解④ Further Activities ①～⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・断る、苦情を言う表現を理解する。</li> <li>・分詞構文について理解する。</li> <li>・俳優、渡辺謙の人生について知り、挑戦することの意味を考える。</li> <li>・仮定法過去について理解する。</li> <li>・究極のエコカー作りの話を通して、環境問題について考える。</li> <li>・仮定法過去について理解する。</li> <li>・レストランの注文について理解する。</li> <li>・忠告、丁寧に依頼する表現を理解する。</li> <li>・既習の内容について、ペアやグループワークをしながら、意見を共有する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	Reading 2 Why Don't You Study a Foreign Language?  TOKISOBA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない語の意味を文脈から推測したり、これまでに学んだ知識を活用したりしながら的確に内容を読み取る。</li> <li>・日本の伝統芸能の落語を英語で味わう。</li> </ul>			学年末
<b>【技能審査の成果の単位認定】</b> ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	英語探究	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組 (選択)
学習の到達目標	<p>1 様々な時事内容を網羅した英文を読むことによって、英語を通して知識を高め、自分の考えをまとめるとともに、英語のコミュニケーション活動で必要な力を養う。</p> <p>2 英文を読んで、必要な情報や書き手の意向を得て、自分の考えや要点を伝える。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>	教科書・副教材等	Watching World (浜島書店) Listening & Speaking Training Seminar 2 (株式会社ラーンズ)		
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容に関心を持ち、意欲的に英語を読み、コミュニケーションを円滑に図ろうと、努力している。</li> <li>聞き手に伝わるように音読に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発言、発表の内容</li> <li>課題提出、ノートの作成状況</li> </ul>	
外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとまりのある文章を読んで、その内容について自分の考えなどを伝えることができる。</li> <li>身近な英文のニュースなどを読んで、その感想を述べることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト、定期考査</li> <li>課題の内容</li> </ul>	
外国語理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとまりのある文章を読んで、必要な情報を読み取り、概要や要点をまとめることができる。</li> <li>まとまりのある文章を読んで、書き手の意向などを読み取ることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、課題テスト</li> <li>教科書の内容やその関連事項についてのQ&amp;A</li> </ul>	
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文を読むために、必要な文法や語彙を知識として豊富に持っている。</li> <li>学習で取り扱われた文化の内容を理解し、自国の文化との違いを理解する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、課題テスト</li> <li>課題の達成状況</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の食文化について読み、好きな料理の特徴や食材について発表する。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語国家シンガポールの社会について読み、習ってみたい外国語について発表する。</li> </ul>			
	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーストラリア英語について読み、方言について話す。</li> </ul>			
	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>インドのガンジス川について読み、日本の観光地やイベントについて話をする。</li> </ul>			
	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>トルコ料理について読み、外国人に勧めたい日本食について説明する文を作る。</li> </ul>			
2 学 期	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラマダンについて読み、日本の伝統行事について話す。</li> </ul>			中間・期末
	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子化の進むケニアについて読み、スマートフォンの便利な機能やアプリについて発表する。</li> </ul>			
	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア正教について読み、日本の寺や神社を案内するときの説明を考える。</li> </ul>			
	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>イギリスの寄宿舎について読み、学校生活の思い出について発表する。</li> </ul>			
	Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイスランドのエネギー政策について読み、日本のエネギー利用の課題について考える。</li> </ul>			
	Lesson 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラジルの移民について読み、現代社会における移民の問題について考える。</li> </ul>			
3 学 期	Lesson 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>メキシコの「死者の日」について読み、日本のお盆やお墓参りについて発表する。</li> </ul>			学年末
	Lesson 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカの州制度について読み、日本との違いを考える。</li> </ul>			
<p>【技能審査の成果の単位認定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語I」の単位数に3単位を加えることができる。</li> </ul>					

科目名	フードデザイン	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組 (選択)
学習の到達目標	<p>1 栄養、食品、調理などに関する知識と技術を習得する。</p> <p>2 食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。</p> <p>3 食物調理技術検定3級以上を習得する。</p>	教科書・副教材等	<p>フードデザイン Cooking &amp; arrangement (教育図書)</p> <p>最新生活ハンドブック (第一学習社)</p> <p>調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編)</p>		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
主体的に学習に取り組む態度	フードデザインに関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組み、創造的、実践的な態度を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価</li> <li>教師の観察記録</li> <li>取組状況</li> </ul>	
思考・判断・表現	フードデザインに関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題やノート、ワークシート、感想</li> <li>実習の計画、記録</li> <li>作品</li> <li>定期考査</li> </ul>	
知識・技能	食生活を総合的にデザインする能力を身に付けている。 フードデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>献立作成</li> <li>料理の仕上がり</li> <li>実習ノート</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	<p>第1章 食生活と健康</p> <p>第3章 調理と献立</p> <p>食物調理技術検定3級</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・友人等集団での食事を共にすることの意義を再確認する。</li> <li>食材の背景にあるものに気づき、食料の価値を考える。</li> <li>栄養バランス、年齢、性、身体活動レベル、目的を考慮した食事の献立について、要点が理解でき、用途に適した献立が作成できる。</li> <li>栄養バランスを考えながら、調理できるようにする。</li> <li>技術検定の実施によって、調理に必要な知識と技術を養う。</li> </ul>			期末
2 学 期	<p>第2章 栄養素・食品の特徴</p> <p>第4章 調理実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種栄養素の特徴と体内でのはたらきについて理解する。</li> <li>多様で多量な輸入食材と日本の食糧事情の現状と将来について考える。</li> <li>食品の特徴や調理性を理解する。</li> <li>食中毒や衛生についての知識を深め、衛生と安全に配慮した調理ができる。</li> <li>だし、味覚効果、料理の触感や温度、素材の持ち味等おいしさに関わる要素を理解し、調理に生かせる。</li> </ul>			期末
3 学 期	第5章 豊かな食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>和風、洋風等それぞれの様式に応じた食卓構成と作法について理解する。</li> </ul>			学年末

科目名	課題研究	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 実践的・体験的な学習をとおして、職業人として必要な資質・能力の育成を目指す。 2 設定した課題の解決策を探求し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する力を養い、問題解決能力を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			教科書 副教材等	なし
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林業の諸問題に関心を持ち、その問題に対して解決していこうという意欲がある。</li> <li>・課題意識を持ち、計画に基づいて学習に取り組もうとする実践力がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度・発表</li> <li>・課題や記録簿のまとめ方</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して適切な解決方法が選択できている。</li> <li>・課題解決に向けて自主的に努力し、活動の過程において創意工夫しながら取り組んでいる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題や記録簿のまとめ方</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・実習に、安全に取り組んでいる。</li> <li>・課題を自分で解決し、助言を課題解決に生かすことができる。</li> <li>・学習内容を正確・丁寧に記録している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出作品</li> <li>・実習態度</li> <li>・発表方法</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林業の役割について理解し、農林業が抱えている問題について学習できている。</li> <li>・研究成果をまとめ、学習する喜びや満足感を感じとることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートのまとめ方</li> <li>・発表内容</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 オリエンテーション 2 テーマ設定 3 プロジェクト学習の年間計画 4 学習活動Ⅰ (1) 各部門での学習 5 1学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究の学習内容や方法について理解する。</li> <li>・プロジェクト学習のテーマについて考える。</li> <li>・プロジェクト学習の年間計画を立案する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら設定したテーマに沿って計画的に学習を進める。</li> <li>・1学期の学習内容をまとめ、自主的に学習しそれを継続する姿勢の大切さを確認する。</li> </ul>			実施なし
2 学 期	6 学習活動Ⅱ (1) プロジェクト学習 (2) データの記録・整理 7 2学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら設定したテーマに沿って計画的に学習を進める。</li> <li>・学習活動のまとめを行い、研究成果を発表できるようにまとめる。</li> <li>・比較調査や1、2学期のまとめを行い、研究成果をレポートにまとめる方法を理解する。</li> <li>・他の教科、科目で学習した知識・技術を関連づけ、学習の深化を図る。</li> </ul>			実施なし
3 学 期	8 発表準備 9 課題研究発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料のまとめ方や発表内容の構成を考える。</li> <li>・視聴覚機器の操作方法を理解させ、発表することにより学習内容の定着を図る。</li> <li>・課題解決により、達成感と自信を持ち、自己実現を図る能力と態度を育てる。</li> </ul>			実施なし

科目名	総合実習	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 農林業の各分野についての実験・実習など、実際の、体験的な学習を通して、総合的な技術を習得し、経営と管理についての理解を深める。 2 農林業の経営や管理の改善に必要な管理能力や企画力、コミュニケーション能力など、実践的な能力と態度を育てる。 3 農林業の各分野における総合的な実習を通して、地域農林業の実態を理解する。			教科書・副教材等	なし
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物の育成や農林業の社会的な役割など農林業と農林業の学習に興味・関心をもっている。</li> <li>農業生物の育成に関するプロジェクトを主体的に行い、栽培管理や作業体系を改善するなど実践的な態度を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加の仕方や態度</li> <li>レポート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林業の特性と農林産物の栽培管理方法について多面的に考察し、栽培方法や加工技術などの基礎的な知識・技術を活用した課題解決に向けての実践的な能力が身に付いている。</li> <li>プロジェクト活動の記録や考察が正確に表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物の育成や生産物の活用、測量技術の習得など農林業に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生物や林産物の育成、生産物の有効利用など、農林業に関する基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>農林業と人間生活の関係について理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	○園芸 1 野菜、草花の管理 2 収穫・調整・販売 ○育林 1 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅲ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表 3 農業鑑定競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培に必要な作業内容の概要を学ぶ。</li> <li>夏野菜、草花に関する基本的な栽培技術を身に付ける。</li> <li>間伐の目的と方法について学習する。</li> <li>間伐木の有効利用の重要性を理解し、伐倒木の枝払を行う。</li> <li>丸加工で広がるデザインの可能性について学習する。</li> <li>丸棒で製作可能な木工品を作製し、間伐材を使うことの意義について学習する。</li> <li>農業鑑定競技実施基準の中から、林業に関する実物鑑定を行う。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> <li>日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。</li> </ul>			実施なし
2 学 期	○園芸 1 野菜、草花の管理 ○育林 1 樹木調査 2 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅲ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培に必要な作業名と作業内容の概要を学習する。</li> <li>秋冬野菜に関する基本的な栽培技術を身に付ける。</li> <li>四国カルスト及び面河溪での樹木調査を実施し、森林の生態系について学習する。</li> <li>学校林、町有林の間伐を行い、伐倒・枝払い・集材や搬出演習を行う。</li> <li>丸棒を用いた木工品の木肌の美しさを表す方法について学習する。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> </ul>			実施なし
3 学 期	○園芸 1 圃場の整備 ○育林 1 刃物の手入れ 2 林地見学 ○林産加工 1 木材の工作 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>圃場の整備を農閑期にしておくことが今後の農作業の効率を向上させることにつながることを理解する。</li> <li>刃物の使い方や研磨方法について学習する。</li> <li>郡内の林地を視察し、久万林業の実態を理解する。</li> <li>木工品の商用について学習し、作品のマニュアルづくりを行う。</li> <li>栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。</li> </ul>			実施なし

科目名	植物バイオテクノロジー	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選)
学習の到達目標	1 植物に関するバイオテクノロジーの知識と技術を習得し、農業の各分野でその技術を応用する能力と態度を育てる。 2 無菌播種や移植の実習などを通して、無菌操作の基本的な知識と技術を習得する。	教科書・副教材等		植物バイオテクノロジー (実教出版)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	・植物の無菌操作に関心をもち、無菌操作に必要な機器や使用方法に関する実験・実習に意欲的に取り組むとともに、無菌培養の環境と生育の関係を探究しようとする実践的な態度を身に付けている。			・学習用具の準備 ・学習活動への取組 ・ノート作成	
思考・判断・表現	・無菌操作に必要な機器や薬品の働きを多面的に考察し、殺菌効果について適切に判断するとともに、植物の無菌培養についての課題を合理的に解決する実践的な能力を身に付けている。 ・器具や培地の殺菌条件について正確に表現できる。			・レポート作成 ・定期考査	
技能	・無菌培養に関する基礎的な技術を身に付け、培養過程における無菌状態の確保を適切に実施することができる。			・発表の内容や仕方 ・レポート作成	
知識・理解	・無菌的条件の設定や、無菌培養に必要な基本操作及び機器と薬品の取り扱いに関する基礎的な知識を身に付け、培養の過程における無菌状態の確保の必要性を理解している。			・学習活動への取組 ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 植物組織培養の実際Ⅰ (1) 組織培養の目的 (2) 組織培養の施設と器具 (3) 器具と薬品類の取扱 (4) 培地の作成 (5) 組織培養の手順	・バイオテクノロジーという言葉の意味を理解し、その利用目的について理解する。 ・組織培養の施設と機器・器具の概要を理解し、機器・器具の取り扱い方を学習する。 ・器具や薬品の安全な取り扱い方を学習する。 ・試薬の計量を正確に行い、目的とする培地を作成できる知識や技能を身に付ける。			中間・ 期末
2 学 期	2 植物組織培養の実際Ⅱ (1) 無菌播種と培養 (2) 未熟種子の播種 (3) 完熟種子の播種 (4) ラン類の継代培養の手順 (5) ラン類の継代培養の実際	・ラン科植物を用いた無菌播種による大量増殖について学習し、植物バイオテクノロジーにおける目的を理解する。 ・ウチョウランの無菌播種を行い、未熟播種法における材料の調整方法や殺菌方法、播種の方法について学習する。 ・ラン類の継代培養を行い、分割・移植の手順を理解する。 ・培養中に発生するコンタミネーションについて学習し、無菌操作の重要性を理解する。 ・培養植物の成長を観察し、植物体がもつ分化全能性について学習する。			中間・ 期末
3 学 期	3 バイオマスエネルギーの利用	・光合成とバイオマスの関係を理解し、バイオマスが再生可能なエネルギーであることを学習する。 ・バイオマスエネルギーの変換利用によって、様々な分野に応用できることを理解する。			学年末

科目名	森林科学	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 森林の仕組みと機能を知り、地域ごとの自然環境に適した管理の知識を学ぶ。 2 森林生態系と材木の生育特性を理解するとともに、森林を統合的に利用できる力を身に付ける。 3 森林を保全、再生する場面で活用できる応用力を養う。			教科書・副教材等	森林科学 (実教出版)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林が有機生産や地球環境の保全において大きな役割を果たしていることを理解し、木材生産や国土・環境の保全などの、森林がもつ多面的な機能を総合的に利用する能力と態度が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習用具の準備</li> <li>学習活動への取り組み</li> <li>ノート作成</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>材木の育成と環境保全の関係など、世界や日本が直面している問題や今後の課題を多面的に捉え、考察できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート作成</li> <li>定期考査</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林生産や森林の多面的な機能が、人間、生物、自然環境に相互に影響する役割を活用して、森林の継続的、総合的な利用について考察できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の内容や仕方</li> <li>レポート作成</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林が環境保全に果たす役割や現状、造材の特性や生育、森林を総合的に利用するための基礎的・基本的な知識を身に付けている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への取り組み</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 森林の保育と山地の保全 (1) 材木と林地の保育 (2) 森林の保護 (3) 治山	<ul style="list-style-type: none"> <li>材木の健全な育成を促し、速やかに目的の森林に導く方法とその成立基盤である山地の安定を図る方法について学習する。</li> <li>材木と林地の保育について、基本的な考え方や作業の進め方について学ぶ。</li> <li>人類共通の環境と資源として、同時に、個人の財産としての森林をどのように保護するかを考える。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	(4) 林道  2 木材の利用 (1) 材木の伐採 (2) 造材と集材 (3) 木材の運搬  3. 森林の総合的利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境に調和する林道について、計画から設計、施工、保守管理についてまで、幅広く学ぶ。</li> <li>伐採について、調査、計画、方法、現在使われている高性能林業機械などを学び、どのようにして保護していくのかを考える。</li> <li>高性能林業機械における、造材、集材の方法を学ぶ。</li> <li>森林の多面的機能を具体的な事例で示し、それぞれをまとめて定着を図る。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	4 持続可能な森林経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な森林基準を学習する。</li> </ul>			学年末

科目名	森林経営	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 持続可能な森林経営について理解を深め、森林の計画や管理の在り方に関する基礎的な知識と技術を習得する。 2 森林の測定・森林機能の評価や森林経営情報の活用などの実践的な能力を身に付ける。	教科書 ・ 副教材 等	森林経営	(実教出版)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に興味・関心を持ち、積極的な学習活動への参加がなされている。</li> <li>使用する道具等を正しく使っている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>ノート</li> <li>授業の中で使用するプリント</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に必要な実践的な知識・技術が身に付いている。</li> <li>安全面も考慮し、的確な判断で活動できている。</li> <li>活動結果が正確にレポートに表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>授業の中で使用するプリント</li> <li>発表内容や仕方</li> <li>定期考査の論述問題</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に関する、基本的な技術が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>発表の内容や仕方</li> <li>定期考査の論述問題</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営に関する知識を習得し、その技術を活かしていく方法を理解できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業の中で使用するプリント</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	オリエンテーション 1 森林と森林経営 (1) わが国と世界の森林 (2) 森林経営の意義と役割 2 森林の機能 (1) 林産物生産機能 (2) 環境保全機能 (3) 保健休養機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営の授業内容や学習方法について理解する。</li> <li>日本と世界の森林資源や木材の需給状況、木材貿易の動向について理解する。</li> <li>森林経営の意義と役割について理解する。</li> <li>森林から林産物を生産することによってもたらされる機能について理解する。</li> <li>森林からもたらされる水源のかん養機能、国土や環境の保全機能について理解する。</li> <li>豊かな人間性の育成、生活の福祉と健康、森林環境教育などに役立つ機能について理解する。</li> </ul>			中間・期末
2 学 期	3 森林の測定と評価 (1) 森林の測定 (2) 森林の機能の評価 (3) リモートセンシングの利用 4 森林経営の計画 (1) 森林経営の目標 (2) 森林施業計画 (3) 森林空間の利用計画 5 森林経営の管理 (1) 森林経営の管理組織 (2) 森林施業と生産管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の大きさの調査、直径・樹高・材積等の測定方法について理解する。</li> <li>森林の機能を調べるさまざまな方法を理解する。</li> <li>林産物生産機能の評価、森林の公益的機能の評価方法について学ぶ。</li> <li>空中写真・衛星リモートセンシングによる森林調査の方法について理解する。</li> <li>将来の森林経営の目標についての計画。</li> <li>生育調査や観察記録などの整理・まとめを行い、次学期の計画について理解する。</li> <li>比較調査や1・2学期のまとめを行い、レポートにまとめる方法を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学 期	6 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>生育調査や測樹の結果をまとめる。</li> </ul>			学年末



科目名	グリーンライフ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択)
学習の到達目標	1 農業と農山村の多面的機能と対人サービスの特性について学習する。 2 地域の自然や農山村の実態を学習し、環境分野への関心を高める。 3 農山村の生活向上および発展を図る力を育てる。	教科書 ・ 副教材 等	グリーンライフ (実教出版)		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業及び農村の多面的な役割に興味・関心を持ち、学習活動への積極的な参加をしている。</li> <li>農山村に目を向け、その特徴や問題点について関心を持っている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>授業で使用する資料の活用</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業及び農山村の持つ多面的機能を理解している。</li> <li>グリーンツーリズムをとおして、農村生活の向上を図ろうとする態度が身に付いている。</li> <li>実習や調査活動の記録や考察等が正確にされている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>授業で使用するプリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>農村に関する調査・研究や農業生物の育成に関する研究活動を行っている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>定期考査</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンツーリズムの意義や役割等を理解している。</li> <li>多様な地域資源の重要性を理解し、その活用方法について考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で使用するプリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 グリーンライフの世界 (1) ライフスタイルとグリーンライフ (2) 地域環境の再生・活性化とグリーンライフ (3) グリーンライフの学びの世界 2 市民農園	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ものの豊かさ」から「心の豊かさ」が重視される世の中に移行している現在、グリーンライフの持つ役割を理解する。</li> <li>地域資源を有効活用することにより地域再生を果たした実例などを学習し、都会にはない農山村の良さを確認する。</li> <li>市民農園の実態を把握し、都市と農村の交流について学ぶ。</li> </ul>			期末
2 学 期	3 観光農園、直売所 (1) 観光農園、直売所とその特徴 (2) 観光農園、直売所と農業・農村生活の向上 4 農業・農村の機能の発見と活用 (1) 自然環境と農業・農村の発見・活用 (2) 地域農産物の発見と栽培・加工 (3) 農村文化の発見と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の観光農園・直売所の実態を調査し、多様化する観光農園や直売所増加の背景について学び、地域産業の発展にどのように貢献できるかを考える。</li> <li>農業、農村の魅力を発見し、その活用方法について考える。</li> <li>地域で生産される農産物の現状を学び特産物とはどのようなものかを学習する。</li> <li>地域農産物の利用形態と加工品・加工方法を調査し、地域特産物について学習する。</li> <li>地域の伝統的な農産物を食文化の関わりについて学習する。</li> </ul>			期末
3 学 期	5 グリーンツーリズム (1) グリーンツーリズムの特徴 (2) グリーンツーリズムの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンツーリズムの意義やあゆみについて学習し、その社会的・経済的効果について理解する。</li> <li>多種多様な地域資源を活用してのグリーンツーリズムが、農山村振興につながることを学習する。</li> </ul>			学年末

科目名	木材デザイン	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組 (選)
学習の到達目標	1 目的にあったデザインを作成するためには、どのようなことを考慮しなければならないか考えられる。 2 美しさと機能を兼ね備えたデザインを考え、作品に仕上げることができる。			教科書 ・ 副教材 等	インテリア・コーディネート ・テキスト (井上書院)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>インテリアに対する関心を深め、デザインを考案しようとする努力ができる。</li> <li>他と協力して、安全かつ確実に作業を行うことができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>実習への取り組み姿勢</li> <li>ノートの点検</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や用途に合った完成像をイメージしながら計画を立てることができる。</li> <li>安全に配慮して実習を行うことができる。</li> <li>美しく色合いを表現することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の観察</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージに合った作品をバランスよく製作することができる。</li> <li>木材を正確に切断、接合することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習中の観察</li> <li>実技試験</li> <li>作品の評価</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材の特性を理解し、木材加工に取り組むことができる。</li> <li>工作機械を安全に使用方法を理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1 インテリアの計画 (1) 空間と寸法の計画 (2) 性能と安全の計画 (3) 住宅各室の計画 (4) 暮らしに密着した木材デザイン		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活とデザインとの関わりについて学習する。</li> <li>日常生活での木材の使用用途について学習する。</li> </ul>		期末
2 学 期	2 家具と人間工学 (1) 人体寸法 (2) 人の動作姿勢・寸法 (3) 家具・インテリアへの応用  3 インテリアのデザイン要素 (1) 形と造形美 (2) 色彩の本質と分類 (3) テクスチャー (材質感)		<ul style="list-style-type: none"> <li>人体寸法の概要とその実践について学習する。</li> <li>空間寸法の概要とその実践について学習する。</li> <li>木材の特性を生かすデザインについて学習する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>色の性質やその効果について学習する。</li> <li>インテリアと色の関係について学習する。</li> <li>材質が異なることによる効果について学習する。</li> </ul>		期末
3 学 期	NCルータによるプログラム (1) プログラムについて (2) 文字デザインの作成 (3) 操作		<ul style="list-style-type: none"> <li>NCルータのプログラムについて理解する。</li> <li>デザインをプログラム化し、機械への入力方法を理解する。</li> <li>NCルータの操作方法を身に付ける。</li> </ul>		学年末

科目名	森林野外活動	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	1 森林の多目的機能や総合的な利用を体験的に学習することにより、森林や環境に対する興味・関心を高める。 2 登山に必要な基礎的な知識・技術を学び、自ら考え行動する力を育成する。	教科書・副教材等	石鎚山系 学びのフィールドミュージアム (愛媛新聞社) はじめての野外活動 (JTB)		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外活動に興味・関心を持ち、積極的な学習活動への参加がなされている。</li> <li>・森林や林業に対する関心が高まる。</li> <li>・丁寧に提出物を作成し、提出する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>・レポート</li> <li>・ノート</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外活動に必要な実践的な知識・技術が身に付いている。</li> <li>・安全面も考慮し、的確な判断で活動できている。</li> <li>・活動結果が正確にレポートに表現できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・授業の中で使用するプリント</li> <li>・定期考査の論述問題</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山・野外活動に関する、基本的な技術が身に付いている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・発表の内容や仕方</li> <li>・定期考査の論述問題</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山に関する知識を習得し、その技術を活かしていく方法を理解できている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業の中で使用するプリント</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 キャンプ基礎 (1) キャンプ道具の使用方法・選び方 (2) キャンプ道具メンテナンス (3) 料理方法 2 登山の基礎 (1) 地図の見方 (2) 服装・荷物の詰め方 (3) 山の歩き方 3 安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林観察・野外活動での注意点や事故・怪我への対処方法について理解する。</li> <li>・山歩きに必要な不可欠な地図の見方について学ぶ。</li> <li>・疲れにくい歩き方や、体力の配分について学習する。</li> <li>・水分補給の必要性や必要に応じた水の取り方について学ぶ。また、即効性のある糖類を食べることの必要性と食べるタイミングについて学ぶ。</li> <li>・ごみ拾いを行いながら登山をし、マナーを身に付けたり、自然の大切さを体感する。</li> </ul>			期末
2 学 期	4 森林動物の観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林内の動物の生き方と特徴を学びながら自然保護のあり方についても考える。</li> <li>・森林に生息する動物の生態、分類、地質など森林に関する様々な知識を、多角的・総合的に身に付ける。</li> </ul>			期末
3 学 期	5 レポートのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の活動レポートをまとめる。</li> </ul>			

科目名	森林環境	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選)
学習の到達目標	<p>1 放置されて荒れた人工林を再生し、森林環境を守るためにできる管理方法を学び、森林のためにできる技術を身に付ける。</p> <p>2 森林は、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養などの多面的機能を有しており、私たちの生活と深く関わっていることを理解する。</p>	教科書・副教材等		<p>図解これならできる山づくり</p> <p>人工林再生の新しいやり方</p> <p>(農文協)</p>	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の森林環境に目を向け、その問題点について興味・関心がある。</li> <li>放置された人工林を、どのような森林にすればよいか関心がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への取組</li> <li>ノート作成</li> </ul>	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の森林の実態を多面的に考察できる。</li> <li>森林環境の課題解決に向けた実践的な能力が身に付いている。</li> <li>実習、調査活動後の記録や考察が正確に表現できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート作成</li> <li>定期考査</li> </ul>	
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工林の再生のための間伐や枝打ちなどの方法が身に付いており、どのような管理をすればよいか理解できる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>管理の内容や仕方</li> <li>レポート作成</li> </ul>	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の森林と地域環境との関係について考察できる。</li> <li>悪化している森林環境の重要性を理解し、その改善策を考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への取組</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 現状調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習林内の植生や環境を調査し、現状と課題が理解できる。</li> </ul>			期 末
	2 木の密度管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の密度を調査し、適切な管理方法の知識と技術を身に付ける。</li> </ul>			
	3 選木	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林内の様々な状況を判断して残す木、切る木を選ぶ。</li> </ul>			
2 学 期	4 間伐	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に十分留意し、選木に従い、森林の状況に応じた間伐作業を行う。</li> </ul>			期 末
	5 枝打ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>間伐と同時に、残す木に対して、森林内の観察をしながら適切な枝打ちを行う。</li> </ul>			
	6 環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境の保全方法について学習する。</li> </ul>			
3 学 期	7 森林環境のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>一年間学んできたことをまとめ、私たちができる森林環境の保全について学習する。</li> </ul>			学 年 末

科目名	林業と情報	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選)	
学習の到達目標	1 社会や企業における生産・販売・管理など様々な場面で活用されるシステムの利用・活用方法について理解する。 2 農業分野における情報の種類と内容を理解し、農業生産や農業経営に利用するための能力を養う。			教科書・副教材等	自作教材	
評 価						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業情報システムに関心を持ち、モデル化やシミュレーションなどに関する課題について探求しようとしている。</li> <li>農業学習に関心を持って、実践的な課題について考えることができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実習状況の観察</li> <li>授業への取り組み</li> <li>データ収集</li> </ul>		
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸問題の解決を目指して思考を深め、合理的に判断することができる。</li> <li>基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>定期考査</li> </ul>		
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル化やシミュレーションなどについて適切に選択して活用している。</li> <li>記録、整理、発信が適切にできる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>実技試験</li> <li>定期考査</li> </ul>		
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測、制御や情報通信のしくみ、データベースによる情報の蓄積や管理の概念を理解している。</li> <li>情報発信の重要性を理解している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート</li> <li>定期考査</li> </ul>		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	1 農業学習と情報活用 (1) 電卓検定の基礎 (2) 農業学習とプロジェクト学習 (3) プロジェクト発表と情報発信			<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得に取り組ませる。</li> <li>農業学習の特徴について理解させる。</li> <li>プロジェクト学習の進め方を理解させ、実際に取り組ませる。</li> <li>プロジェクトの発表課程で情報活用能力を身に付けさせる。</li> </ul>		期末
2 学 期	2 情報システム (1) 情報システムの概要 (2) システム開発 (3) データベースシステム (4) 計測と制御 3 農業情報および森林・環境情報の活用 (1) 農業情報と伝達メディア (2) 農業の各分野における情報の活用			<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な情報システムの存在と役割について理解させる。</li> <li>情報システムが大きな社会基盤になっていることを理解させ、農業への応用について考えさせる。</li> <li>データベースを利用し、地域農業の変遷についての調査結果と農林統計情報を使い、地域農業の現況について考えさせる。</li> </ul>		期末
3 学 期	(3) 農業のシステム化 (4) 森林情報の活用 (5) 環境情報の活用			<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培、販売、農業経営の各場面で必要な情報は何か理解させる。</li> <li>情報メディアの種類と農業農村でのメディアの役割を考えさせる。</li> <li>森林情報の種類と情報内容、活用技術について理解させる。</li> </ul>		学年末
<b>【技能審査の成果の単位認定】</b> ・在学中に「全国商業高等学校協会主催情報ビジネス検定1級」または「全国商業高等学校協会主催情報処理検定1級(ビジネス部門)」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「農業情報処理」の単位数に2単位を加えることができる。						